

はじめに

近年 高齢者が尊厳を持って暮らすことの重要性が語られているが
多くの高齢者・職員が

金銭的負担

人員不足

理解不足

制度的・社会的要因 から

思いを
あきらめる現状

対象

軽度者6名
 通所介護の新規利用者30名 認知症生活自立度Ⅱ以上12名

対象条件: H23.11~27.4の新規利用者79名のうち継続利用され
 ADOC可能な方

対象外: 6か月未満及び介護更新なし 27名 } 合計
 重度認知症など 13名 拒否9名 } 49名

【参考文献】

- 厚生労働省: 2015年の高齢者介護～高齢者の尊厳を支えるケアの確立に向けて～。(オンライン)入手先<www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/kentou/15kourei/3.html>
- 大野寛太, 作田浩行, 長山洋史, 齋藤佑樹, 友幸幸之介: 作業療法におけるトップダウンアプローチとボトムアップアプローチの実施状況. 神奈川県作業療法研究4(1): 11-17, 2014

取り組み

①ADL

施設側の都合
 本来は不必要な **車いす** NG!
 ・人員不足 ・広すぎる ・責任リスク

杖・歩行器、伝い歩き
 家では何とか歩いている

1.個々の能力に合わせる
 ・不必要な車いす・手引きは廃止!
 ・自宅に近いパリアありの環境!

2.実動作練習
 住み慣れた場所で少しでも安心して暮らせるように!

柔軟に寄り添える環境作り
 自立へ向けて

大切な活動・生活に より専門的に(AMPS)

通所 **訪問**

保険外
 多様なニーズを柔軟に

目指すのは **その人らしい生活! 自立支援!**

②生きがい

施設側の都合

- 画一的なプログラム 塗り絵・折り紙・パワリハ等
- 有料制 金銭的理由や管理ができないと参加×
- 人員不足等 リスク・手間・管理 etc

多様なニーズに応えられる環境作り (人・作業・環境)

主役は皆さん!

楽しみながら **心・身体・バランスup!**

OTは生きがいを創り見守る

③外出

- 施設外 外出 CM・Faへの説明 計画書記載で実現OK
- 財布の持ち込みOK これまでトラブルなし (見守れる環境)
- 季節感をリアルに体験 (RO)
- 不安や不穏なとき 近所の神社やバス停へ散歩 →穏やかに!

行きたいときに 買い物へ

心配・あきらめ 当事業所 利用者対象 **④保険外**

⇒地域の保険外サービスやボランティアは.....いやだ!
 『知らない人・サービスを使ってまでは...』

心身の健康や健康感が増す

『あきらめていたニーズ』を表出

馴染みの職員が寄り添う

普通の生活を大切に!

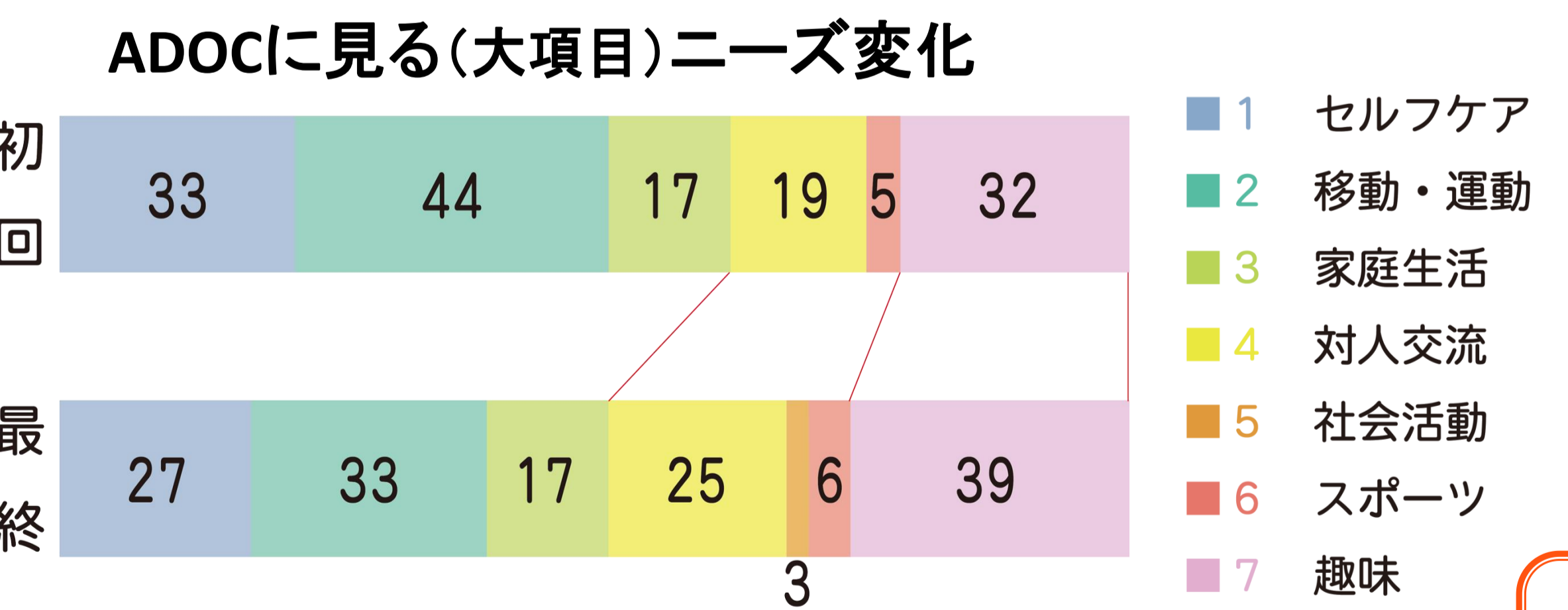
共に食べ・学び・楽しむ

成功体験の積み重ね

自信・意欲が回復!

結果

定量的変化	ADOC (大切な活動の満足)	FIM (しているADL)	介護度
平均点	2点→3.3点	97.3点→102点	平均 1.5→1.0
改善率	100%	86%以上	中等度・重度の改善度 33.3%
			全国平均8.7% (軽度者含む)



①思いの変化

より個別的・社会的ニーズへ

②言動の変化

ポジティブ! 周辺症状の軽減

③痛みの変化

慢性疼痛の緩和(心理社会的アプローチ)

事故0ゼロ!

入浴拒否
 帰宅願望・徘徊
 物取られ妄想など

主体的なセルフケアや
 生きがいを通じた
 成功体験

ネガティブ思考から
未来志向型へ!

より社会的な活動へ移行
 する方が**約半数(46%)**に!



【参考文献】

- 厚生労働省: 平成24年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査(平成25年度調査)
- (11)生活期リハビリテーションに関する実態調査報告書(オンライン)入手先<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000>

考察

① 専門性を生かした「できる」環境作りにより、地域での**OBPの有効性**が証明される結果となった!

その人らしいセルフケアと生きがいが
 実践できると「**元気になれる**」

費用効果も高い!

その人らしく
 生き活きと暮らせる
 世の中に

② 保険制度の縮小が進む中、保険外を含む**多様なサポートの充実**が期待されている!

地域ではOTの活躍を期待する声も!

地域経済への貢献!(保険支出の軽減)

地域資源の充実!

達成感を通じたラポール形成

「無償サポート(外出同行・無償運送)」 「有償サポート(宿泊同行など)」

結論 地域の高齢者・職員が『できると思える』サポートが必要

相互の充実感・自己効力感↑

他職種との協働

サポート体制の構築

社会貢献

【参考文献】

- 藪脇健司: 高齢者のその人らしさを捉える作業療法. 文光堂, 2015